



平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月2日

上場取引所 東

上場会社名 太陽ホールディングス株式会社

コード番号 4626 URL http://www.taiyo-hd.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 英志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 尾身 修一 TEL 03-5999-1511 (代表)

定時株主総会開催予定日 平成29年6月21日 配当支払開始予定日 平成29年6月22日

有価証券報告書提出予定日 平成29年6月22日

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期の連結業績（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|--------|--------|------|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期 | 47,866 | △4.0 | 9,221 | △15.9 | 9,202 | △17.3 | 6,398 | △17.9 |
| 28年3月期 | 49,843 | 3.3 | 10,964 | 18.5 | 11,129 | 16.8 | 7,796 | 16.9 |

(注) 包括利益 29年3月期 6,151百万円 (4.4%) 28年3月期 5,891百万円 (△42.2%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 29年3月期 | 266.46 | — | 11.2 | 11.7 | 19.3 |
| 28年3月期 | 337.99 | — | 19.0 | 17.6 | 22.0 |

(参考) 持分法投資損益 29年3月期 ー百万円 28年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期 | 92,386 | 71,846 | 76.9 | 2,468.99 |
| 28年3月期 | 65,464 | 45,250 | 65.9 | 1,865.94 |

(参考) 自己資本 29年3月期 71,067百万円 28年3月期 43,115百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 29年3月期 | 9,042 | △1,063 | 20,342 | 46,661 |
| 28年3月期 | 10,546 | △6,750 | △2,740 | 18,385 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率 (連結) |
|-------------|------------|------------|------------|-------|--------|---------------|--------------|-----------------|
| | 第1 四半期末 | 第2 四半期末 | 第3 四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 28年3月期 | — | 55.00 | — | 55.00 | 110.00 | 2,547 | 32.5 | 6.2 |
| 29年3月期 | — | 55.00 | — | 65.10 | 120.10 | 2,776 | 45.1 | 5.5 |
| 30年3月期 (予想) | — | 65.10 | — | 65.10 | 130.20 | | 66.9 | |

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 23,200 | △1.0 | 4,100 | △10.0 | 4,000 | △13.1 | 2,800 | △22.7 | 97.28 |
| 通期 | 46,400 | △3.1 | 8,100 | △12.2 | 8,000 | △13.1 | 5,600 | △12.5 | 194.56 |

(注) 平成30年3月期の連結業績予想については、参考値を添付書類P. 4「1.経営成績等の概況(4) 今後の見通し」に記載しておりますのでご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 14「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|--------|-------------|--------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期 | 28,841,100株 | 28年3月期 | 27,485,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期 | 58,515株 | 28年3月期 | 4,379,037株 |
| ③ 期中平均株式数 | 29年3月期 | 24,014,559株 | 28年3月期 | 23,066,770株 |

(注) 1. 第1回A種種類株式及び第2回A種種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、期末発行済株式数及び期中平均株式数に含まれています。

2. 自己株式数には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式が含まれています。

※ 決算短信は監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

| 第1回A種種類株式 | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 55.00 | — | 55.00 | 110.00 |
| 29年3月期 | — | 55.00 | — | 65.10 | 120.10 |
| 30年3月期（予想） | — | 65.10 | — | 65.10 | 130.20 |

| 第2回A種種類株式 | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期 | — | 55.00 | — | 65.10 | 120.10 |
| 30年3月期（予想） | — | 65.10 | — | 65.10 | 130.20 |

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (連結損益計算書) | 8 |
| (連結包括利益計算書) | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (会計方針の変更) | 14 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 18 |

1. 経営成績等の概況

製商品品目については以下の略語を使用しています。

| 略 語 | 内 容 |
|-----|----------|
| PWB | プリント配線板 |
| PKG | 半導体パッケージ |

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における米国経済は、引き続き好調な個人消費や企業の投資活動の復調による緩やかな景気の回復が続き、欧州経済においても個人消費の緩やかな改善を背景にした景気の回復が続いています。一方、中国経済は、住宅投資の伸びの低下や、過剰生産能力の削減圧力が強く、先行きは慎重にみる必要がありますが、所得の堅調な伸びを背景に底堅く推移しました。日本経済においては、一部に改善の遅れも見られますが、緩やかな回復基調が続いています。

当社グループの関連市場である電子部品業界については、スマートフォンや車載関連部材の需要が堅調に推移しました。

このような状況の下、為替が円高に推移した影響を主要因として、当連結会計年度の売上高は47,866百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

リジッド基板用部材については、販売数量は前年同期並みの水準で推移しましたが、為替が円高に推移した影響もあり、売上高は33,216百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

PKG基板用及びフレキシブル基板用部材については、販売数量は前年同期を上回る水準で推移しましたが、為替が円高に推移した影響もあり、売上高は10,348百万円（前年同期比3.4%増）に留まりました。

以上の結果、営業利益は9,221百万円（前年同期比15.9%減）、経常利益は9,202百万円（前年同期比17.3%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は6,398百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

(製商品品目区分による販売実績)

当期における製商品品目別の販売実績は次のとおりです。

| 製商品品目の名称 | | 前期実績 (百万円) | 当期実績 (百万円) | 前期比 | |
|-------------|-------------------------|---------------|---------------|--------------|------------|
| | | | | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| PWB用 部材 | リジッド基板用部材 | 35,242 | 33,216 | △2,026 | △5.7 |
| | PKG基板用及び フレキシブル基板用部材 | 10,007 | 10,348 | 340 | 3.4 |
| | ビルドアップ基板用部材 | 1,069 | 1,136 | 67 | 6.3 |
| その他 関連商材 | — | 3,523 | 3,165 | △358 | △10.2 |
| 合 計 | | 49,843 | 47,866 | △1,977 | △4.0 |

(注) 当連結会計年度よりFPD（フラットパネル・ディスプレイ）用部材の販売実績は、全製商品における割合が僅少であるため、その他関連商材として報告しています。

当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

セグメントの業績は次のとおりです（売上高にはセグメント間の内部取引が含まれています）。

① 日本

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材も高機能なスマートフォン関連部材を中心に好調に推移しましたが、為替が円高に推移した影響を受けました。

この結果、売上高は17,917百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は2,026百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

② 中国

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移しましたが、為替が円高に推移した影響を受けました。

この結果、売上高は20,618百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は4,582百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

③ 台湾

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移しましたが、為替が円高に推移した影響を受けました。

この結果、売上高は10,042百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は1,492百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

④ 韓国

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材の需要が堅調に推移しましたが、為替が円高に推移した影響を受けました。

この結果、売上高は8,825百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は1,275百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

⑤ その他

リジッド基板用部材は、車載関連部材市場の拡大により堅調に推移しましたが、為替が円高に推移した影響を受けました。

この結果、売上高は4,076百万円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は534百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当期末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

| | 前期末 (百万円) | 当期末 (百万円) | 増減額 (百万円) | 大口要因 (前期末との比較) |
|---------|--------------|--------------|--------------|--|
| 流動資産 | 39,340 | 67,483 | 28,143 | 現金及び預金27,391百万円、受取手形及び売掛金510百万円の増加 |
| 固定資産 | 26,124 | 24,903 | △1,221 | 有形固定資産の減損損失1,019百万円 |
| 資産合計 | 65,464 | 92,386 | 26,921 | |
| 負債合計 | 20,214 | 20,540 | 326 | 支払手形及び買掛金405百万円の増加 |
| 純資産合計 | 45,250 | 71,846 | 26,595 | 当期純利益6,398百万円、自己株式13,963百万円、資本金2,982百万円、資本剰余金7,519百万円、配当金の支払2,544百万円 |
| 負債純資産合計 | 65,464 | 92,386 | 26,921 | |

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

| | 当期金額 (百万円) | 大口要因 |
|----------------------|---------------|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 9,042 | 税金等調整前当期純利益8,756百万円、減価償却費2,485百万円、法人税等の支払△2,779百万円 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,063 | 有形固定資産の取得△1,584百万円、定期預金の預入△2,247百万円、定期預金の払戻3,082百万円 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 20,342 | 配当金の支払△2,544百万円、自己株式の売却18,932百万円、株式の発行5,965百万円、子会社株式の追加取得△1,667百万円 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 28,233 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 46,661 | |

(4) 今後の見通し

次期の事業環境は、当社グループの関連市場である電子部品業界におきましては車載関連部材や高機能なスマートフォン関連部材の需要は堅調に推移する一方で、一般家電製品は低調に推移すると見通しています。また、中国での環境規制の強化による原材料費の高騰や人件費の上昇を予測しています。

併せて当社グループの海外売上高比率は高いことから、次期は円高の進行により業績に影響が生じることを想定しています。

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円) | 1株当たり 当期純利益 (円) |
|-----------------|--------------|---------------|---------------|------------------------------|-----------------------|
| 平成30年3月期 見通し | 46,400 | 8,100 | 8,000 | 5,600 | 194.56 |
| 平成29年3月期 実績 | 47,866 | 9,221 | 9,202 | 6,398 | 266.46 |
| 増減率 (%) | △3.1 | △12.2 | △13.1 | △12.5 | △27.0 |

平成30年3月期見通しは、期中平均為替レートを対米ドル円で100円として算定しています。

ご参考までに、期中平均為替レートを平成29年3月期と同水準の対米ドル円で109円として算定した場合の平成30年3月期の業績予想は、次のとおりです。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 円 銭 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|------|-----------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 第2四半期(累計) | 24,900 | 6.2 | 4,900 | 7.5 | 4,800 | 4.3 | 3,400 | △6.2 | 118.13 |
| 通期 | 49,700 | 3.8 | 9,700 | 5.2 | 9,600 | 4.3 | 6,700 | 4.7 | 232.78 |

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2016年3月31日) | 当連結会計年度 (2017年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 21,408 | 48,800 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,836 | 13,346 |
| 商品及び製品 | 2,013 | 2,182 |
| 仕掛品 | 410 | 437 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,593 | 1,797 |
| 繰延税金資産 | 72 | 81 |
| その他 | 1,345 | 936 |
| 貸倒引当金 | △339 | △99 |
| 流動資産合計 | 39,340 | 67,483 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 10,523 | 10,359 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,764 | 2,850 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,154 | 1,155 |
| 土地 | 4,616 | 3,920 |
| 建設仮勘定 | 579 | 100 |
| その他 | 4 | 3 |
| 有形固定資産合計 | 19,644 | 18,389 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 4,432 | 4,104 |
| その他 | 486 | 433 |
| 無形固定資産合計 | 4,919 | 4,537 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 656 | 1,058 |
| 関係会社株式 | 39 | 19 |
| 繰延税金資産 | 97 | 149 |
| 退職給付に係る資産 | 356 | 332 |
| その他 | 413 | 570 |
| 貸倒引当金 | △1 | △154 |
| 投資その他の資産合計 | 1,561 | 1,975 |
| 固定資産合計 | 26,124 | 24,903 |
| 資産合計 | 65,464 | 92,386 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2016年3月31日) | 当連結会計年度 (2017年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,765 | 6,170 |
| 短期借入金 | 932 | 1,274 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 440 | 500 |
| 未払金 | 1,697 | 1,210 |
| 未払法人税等 | 776 | 884 |
| 繰延税金負債 | 412 | 252 |
| 賞与引当金 | 398 | 436 |
| その他 | 476 | 877 |
| 流動負債合計 | 10,898 | 11,608 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,258 | 1,135 |
| 長期借入金 | 7,413 | 7,169 |
| 退職給付に係る負債 | 116 | 127 |
| 資産除去債務 | 331 | 352 |
| その他 | 194 | 147 |
| 固定負債合計 | 9,315 | 8,931 |
| 負債合計 | 20,214 | 20,540 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,188 | 9,171 |
| 資本剰余金 | 7,304 | 14,824 |
| 利益剰余金 | 42,490 | 46,308 |
| 自己株式 | △14,141 | △178 |
| 株主資本合計 | 41,841 | 70,125 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 96 | 195 |
| 為替換算調整勘定 | 1,190 | 741 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △12 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,274 | 938 |
| 非支配株主持分 | 2,135 | 782 |
| 純資産合計 | 45,250 | 71,846 |
| 負債純資産合計 | 65,464 | 92,386 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 49,843 | 47,866 |
| 売上原価 | 27,355 | 26,220 |
| 売上総利益 | 22,487 | 21,645 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,522 | 12,424 |
| 営業利益 | 10,964 | 9,221 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 103 | 57 |
| 受取配当金 | 8 | 39 |
| 為替差益 | 24 | 14 |
| 補助金収入 | 22 | 20 |
| その他 | 106 | 102 |
| 営業外収益合計 | 265 | 234 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 69 | 86 |
| 支払手数料 | - | 101 |
| 株式交付費 | - | 27 |
| 投資事業組合運用損 | 12 | 5 |
| その他 | 19 | 32 |
| 営業外費用合計 | 100 | 253 |
| 経常利益 | 11,129 | 9,202 |
| 特別利益 | | |
| 厚生年金基金代行返上益 | 34 | - |
| 補助金収入 | - | 546 |
| その他 | 6 | 29 |
| 特別利益合計 | 40 | 575 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 31 | 1,019 |
| その他 | 0 | 2 |
| 特別損失合計 | 32 | 1,021 |
| 税金等調整前当期純利益 | 11,137 | 8,756 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,855 | 2,588 |
| 法人税等調整額 | 153 | △388 |
| 法人税等合計 | 3,009 | 2,199 |
| 当期純利益 | 8,128 | 6,557 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 331 | 158 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 7,796 | 6,398 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 8,128 | 6,557 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14 | 99 |
| 為替換算調整勘定 | △2,256 | △519 |
| 退職給付に係る調整額 | 33 | 13 |
| その他の包括利益合計 | △2,236 | △406 |
| 包括利益 | 5,891 | 6,151 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 5,673 | 6,063 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 217 | 88 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,134 | 7,143 | 36,997 | △14,598 | 35,676 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,303 | | △2,303 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 7,796 | | 7,796 |
| 新株の発行 | 53 | 53 | | | 106 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 107 | | 457 | 565 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 53 | 160 | 5,493 | 456 | 6,164 |
| 当期末残高 | 6,188 | 7,304 | 42,490 | △14,141 | 41,841 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 110 | 3,332 | △46 | 3,396 | 2,238 | 41,312 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △2,303 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 7,796 |
| 新株の発行 | | | | | | 106 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 565 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △14 | △2,141 | 33 | △2,122 | △103 | △2,225 |
| 当期変動額合計 | △14 | △2,141 | 33 | △2,122 | △103 | 3,938 |
| 当期末残高 | 96 | 1,190 | △12 | 1,274 | 2,135 | 45,250 |

当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|--------|--------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,188 | 7,304 | 42,490 | △14,141 | 41,841 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,544 | | △2,544 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 6,398 | | 6,398 |
| 連結範囲の変動 | | | △35 | | △35 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | △609 | | | △609 |
| 新株の発行 | 2,982 | 2,982 | | | 5,965 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | 5,145 | | 13,963 | 19,109 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | 2,982 | 7,519 | 3,818 | 13,963 | 28,283 |
| 当期末残高 | 9,171 | 14,824 | 46,308 | △178 | 70,125 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 96 | 1,190 | △12 | 1,274 | 2,135 | 45,250 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △2,544 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 6,398 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | △35 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | | | | | △609 |
| 新株の発行 | | | | | | 5,965 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 19,109 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 99 | △448 | 13 | △335 | △1,352 | △1,688 |
| 当期変動額合計 | 99 | △448 | 13 | △335 | △1,352 | 26,595 |
| 当期末残高 | 195 | 741 | 0 | 938 | 782 | 71,846 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 11,137 | 8,756 |
| 減価償却費 | 1,891 | 2,485 |
| 減損損失 | 31 | 1,019 |
| のれん償却額 | 280 | 241 |
| 支払手数料 | — | 101 |
| 株式交付費 | — | 27 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | 12 | 5 |
| 厚生年金基金代行返上損益 (△は益) | △34 | — |
| 補助金収入 | — | △546 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | 31 | 50 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 11 | 9 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 13 | △80 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △11 | 36 |
| 受取利息及び受取配当金 | △112 | △97 |
| 支払利息 | 69 | 86 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △592 | △925 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 464 | △420 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 349 | 567 |
| その他 | 253 | △56 |
| 小計 | 13,797 | 11,259 |
| 利息及び配当金の受取額 | 105 | 97 |
| 利息の支払額 | △62 | △80 |
| 補助金の受取額 | — | 546 |
| 法人税等の支払額 | △3,293 | △2,779 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,546 | 9,042 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △4,372 | △2,247 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,708 | 3,082 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,217 | △1,584 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 10 | 35 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △160 | △76 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △114 | △271 |
| その他 | △604 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,750 | △1,063 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 261 | 308 |
| 長期借入れによる収入 | 500 | 300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △984 | △466 |
| 社債の償還による支出 | — | △100 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 1 | 18,932 |
| 配当金の支払額 | △2,303 | △2,544 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △321 | △383 |
| 株式の発行による収入 | 106 | 5,965 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △1,667 |
| その他 | — | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,740 | 20,342 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,017 | △88 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 38 | 28,233 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,183 | 18,385 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 42 |
| 株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 163 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 18,385 | 46,661 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当連結会計年度に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

この変更に伴う、当連結会計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度(自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の単一事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 2 | 合 計 |
|--------------------|---------|--------------|--------------|-------|--------|--------------|--------|
| | 日 本 | 中 国 (注) 1 | 台 湾 (注) 1 | 韓 国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,565 | 20,687 | 6,864 | 7,385 | 45,502 | 4,340 | 49,843 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 6,437 | 1,132 | 2,990 | 353 | 10,914 | 110 | 11,024 |
| 計 | 17,002 | 21,820 | 9,854 | 7,739 | 56,417 | 4,451 | 60,868 |
| セグメント利益 | 2,254 | 4,775 | 2,227 | 1,414 | 10,671 | 597 | 11,269 |
| セグメント資産 | 16,214 | 14,847 | 14,221 | 7,724 | 53,007 | 2,393 | 55,400 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費(注) 3 | 832 | 288 | 189 | 134 | 1,444 | 16 | 1,461 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 2,586 | 348 | 94 | 74 | 3,105 | 8 | 3,114 |

(注) 1. 「中国」及び「台湾」セグメントには、永勝泰科技股份有限公司(その他 子会社4社)の売上高及び営業利益を含んでいます。なお、2015年2月20日において、永勝泰科技股份有限公司(その他 子会社4社)のうち1社を清算しています。

また、永勝泰科技股份有限公司の子会社のうち1社は事業を営んでいないため、報告セグメントを構成していません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国及びその他アジアの現地法人を含んでいます。

3. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

| 売 上 | 前連結会計年度 |
|-------------|---------|
| 報告セグメント計 | 56,417 |
| 「その他」の区分の売上 | 4,451 |
| セグメント間取引消去 | △11,024 |
| 連結損益計算書の売上高 | 49,843 |

(単位: 百万円)

| 利 益 | 前連結会計年度 |
|-----------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 10,671 |
| 「その他」の区分の利益 | 597 |
| セグメント間取引消去 | 222 |
| のれんの償却額 | △280 |
| 事業セグメントに配分していない損益 (注) | △246 |
| その他の調整額 | 0 |
| 連結損益計算書の営業利益 | 10,964 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る損益です。

(単位: 百万円)

| 資 産 | 前連結会計年度 |
|-----------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 53,007 |
| 「その他」の区分の資産 | 2,393 |
| セグメント間取引消去 | △9,515 |
| 事業セグメントに配分していない資産 (注) | 19,655 |
| 税効果組替 | △75 |
| 連結貸借対照表の資産合計 | 65,464 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る資産です。

(単位: 百万円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | その他 | 調整額 (注) | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|----------|---------|---------|-----------|
| | 前連結会計年度 | 前連結会計年度 | 前連結会計年度 | 前連結会計年度 |
| 減価償却費 | 1,444 | 16 | 429 | 1,891 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 3,105 | 8 | 941 | 4,055 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係るものです。

Ⅱ当連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の単一事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 2 | 合 計 |
|------------------------|---------|--------------|--------------|-------|--------|--------------|--------|
| | 日 本 | 中 国 (注) 1 | 台 湾 (注) 1 | 韓 国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,446 | 19,923 | 6,062 | 8,459 | 43,891 | 3,974 | 47,866 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 8,471 | 694 | 3,979 | 366 | 13,512 | 101 | 13,614 |
| 計 | 17,917 | 20,618 | 10,042 | 8,825 | 57,403 | 4,076 | 61,480 |
| セグメント利益 | 2,026 | 4,582 | 1,492 | 1,275 | 9,376 | 534 | 9,911 |
| セグメント資産 | 17,976 | 14,972 | 14,868 | 6,711 | 54,528 | 2,988 | 57,517 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費(注) 3 | 1,068 | 252 | 474 | 118 | 1,912 | 93 | 2,006 |
| 有形固定資産及び無形固 定資産の増加額 | 526 | 272 | 48 | 98 | 946 | 20 | 966 |

(注) 1. 「中国」及び「台湾」セグメントには、永勝泰科技股份有限公司(その他 子会社3社)の売上高及び営業利益を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として米国及びその他アジアの現地法人です。

3. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

| 売 上 | 当連結会計年度 |
|-------------|---------|
| 報告セグメント計 | 57,403 |
| 「その他」の区分の売上 | 4,076 |
| セグメント間取引消去 | △13,614 |
| 連結損益計算書の売上高 | 47,866 |

(単位: 百万円)

| 利 益 | 当連結会計年度 |
|-----------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 9,376 |
| 「その他」の区分の利益 | 534 |
| セグメント間取引消去 | △103 |
| のれんの償却額 | △241 |
| 事業セグメントに配分していない損益 (注) | △348 |
| その他の調整額 | 3 |
| 連結損益計算書の営業利益 | 9,221 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る損益です。

(単位: 百万円)

| 資 産 | 当連結会計年度 |
|-----------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 54,528 |
| 「その他」の区分の資産 | 2,988 |
| セグメント間取引消去 | △9,983 |
| 事業セグメントに配分していない資産 (注) | 44,870 |
| 税効果組替 | △17 |
| 連結貸借対照表の資産合計 | 92,386 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係る資産です。

(単位: 百万円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | その他 | 調整額 (注) | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|----------|---------|---------|-----------|
| | 当連結会計年度 | 当連結会計年度 | 当連結会計年度 | 当連結会計年度 |
| 減価償却費 | 1,912 | 93 | 479 | 2,485 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 946 | 20 | 756 | 1,722 |

(注) 主として持株会社 (連結財務諸表提出会社) に係るものです。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 1,865.94円 | 1株当たり純資産額 | 2,468.99円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 337.99円 | 1株当たり当期純利益金額 | 266.46円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。
 2. 「1株当たり純資産額」の算定上、その計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託口として保有する当社株式を含めています。(前連結会計年度74,390株、当連結会計年度58,480株)
 3. 1株当たりの当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日) |
|---|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円) | 7,796 | 6,398 |
| 普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式及び普通株式と同等の株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円) | 7,796 | 6,398 |
| 普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数(株) | 23,066,770 | 24,014,559 |
| (うち普通株式) | (23,050,155) | (23,959,959) |
| (うち第1回A種種類株式) | (16,615) | (21,600) |
| (うち第2回A種種類株式) | (—) | (33,000) |

- (注) 1. 普通株式の期中平均株式数については、その計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託口として保有する当社株式を含めています。(前連結会計年度81,912株、当連結会計年度63,565株)
 2. 第1回A種種類株式及び第2回A種種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。